

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成 21 年 5 月 21 日 (2009.5.21)

【公表番号】特表 2009-510803 (P2009-510803A)

【公表日】平成 21 年 3 月 12 日 (2009.3.12)

【年通号数】公開・登録公報 2009-010

【出願番号】特願 2008-515971 (P2008-515971)

【国際特許分類】

H 0 4 W 74/08 (2009.01)

H 0 4 W 84/12 (2009.01)

【F I】

H 0 4 Q 7/00 5 7 4

H 0 4 Q 7/00 6 3 0

【手続補正書】

【提出日】平成 21 年 3 月 31 日 (2009.3.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

設定される場合、ノードがチャネル上のそれ自体への送信を許可することを防ぐ前記チャネルの第 1 のタイマ (NAV\_\_RTS) を前記ノードで維持するステップと、

設定される場合、前記ノードが前記チャネル上で送信することを防ぐ前記チャネルの第 2 のタイマ (NAV\_\_CTS) を前記ノードで維持するステップと、

前記チャネルについて、0 より大きく、かつ前記 NAV\_\_RTS の現在値より大きい予約期間値を有する送信要求 (CC - RTS) フレームが受信されるときに前記 NAV\_\_RTS を更新するステップと、

前記チャネルについて、0 より大きく、かつ前記 NAV\_\_CTS の現在値より大きい予約期間値を有する送信応答 (CC - CTS) フレームが受信されるときに前記 NAV\_\_CTS を更新するステップとを含む方法。

【請求項 2】

0 に等しい予約期間値を有する CC - RTS フレームが受信されるときに前記 NAV\_\_RTS の更新を抑えるステップをさらに含む請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

0 に等しい予約期間値を有する CC - CTS フレームが受信されるときに前記 NAV\_\_CTS の更新を抑えるステップをさらに含む請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記チャネルについて、0 より大きく、かつ前記 NAV\_\_RTS の現在値より大きい予約期間値を有する送信要求 (CC - RTS) フレームが受信されるときに前記 NAV\_\_RTS を更新するステップが、前記 CC - RTS が、短フレーム間隔 (SIFS) 時間より大きいアイドル時間の後に続いて受信されたかどうか判断し、CC - CTS および CC - RTS の受信に必要な時間の間、前記 NAV\_\_RTS を更新し、取消しが受信されない場合に前記 NAV\_\_RTS を延長するステップを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記チャネルについて、0 より大きく、かつ前記 NAV\_\_RTS の現在値より大きい予約期間値を有する送信要求 (CC - RTS) が受信されるときに前記 NAV\_\_RTS を更

新するステップが、前記 CC - RTS が、短フレーム間隔 (SIFS) 時間を超えないアイドル時間の後に続いて受信されたかどうか判断し、前記 CC - RTS 予約期間値の間、前記 NAV\_\_RTS 期間を更新するステップを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記チャネルについて、0 より大きく、かつ前記 NAV\_\_CTS の現在値より大きい予約期間値を有する送信応答 (CC - CTS) が受信されるときに前記 NAV\_\_CTS を更新するステップが、前記 CC - CTS 予約期間値の間、前記 NAV\_\_CTS 期間を更新するステップを含む、請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記チャネルのタイマを維持し、および前記チャネルについて受信された最後の CC - MRTS の転送側ノードおよび最後のノードを記憶し、前記チャネルについて受信された前記最後の CC - RTS の予約期間値を維持するステップをさらに含む請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

前記タイマが 0 の値である間、ノードが、チャネルについて、0 より大きい予約期間値を有する CC - RTS を受信するときに、CC - CTS および CC - RTS (CC - RTS HSHK) を受信するのに必要な時間間隔の間、前記チャネルの前記 NAV\_\_RTS を更新し、前記タイマを前記 CC - RTS HSHK の値に設定し、前記タイマが終了するときに前記チャネルの前記 NAV\_\_RTS を、前記チャネルについて受信された前記最後の CC - RTS の前記予約時間間隔に等しい値で更新する、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 9】

前記タイマが 0 より大きい間、ノードが、チャネルについて、0 より大きい予約期間値を有する CC - RTS を最後のノードと同じで、かつ同じチャネルについてのノードから受信するときに、前記 CC - RTS 期間値の間、前記チャネルの前記 NAV\_\_RTS を更新し、前記タイマをリセットする、請求項 7 に記載の方法。

【請求項 10】

露出ノードを回避するためのコンピュータ読取り可能コードをその中に含むコンピュータ読取り可能媒体であって、

設定される場合、ノードがチャネル上のそれ自体への送信を許可することを防ぐ前記チャネルの第 1 のタイマ (NAV\_\_RTS) を前記ノードで維持するための命令と、

設定される場合、前記ノードが前記チャネル上で送信することを防ぐ前記チャネルの第 2 のタイマ (NAV\_\_CTS) を前記ノードで維持するための命令と、

0 より大きく、かつ前記 NAV\_\_RTS の現在値より大きい予約期間値を有する送信要求 (CC - RTS) フレームが受信されるときに前記 NAV\_\_RTS を更新するための命令と、

0 より大きく、かつ前記 NAV\_\_CTS の現在値より大きい予約期間値を有する送信応答 (CC - CTS) フレームが受信されるときに前記 NAV\_\_CTS を更新するための命令とを含むコンピュータ読取り可能媒体。